

令和5年度 第2回 気田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月6日（金）14時30分から16時05分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、正久 幸廣（15時40分まで）、山下 晃二、児玉 和三、山下 太一郎、岩本 祐美子
- 4 欠席委員 福島 亜弥、清水 恭子、
- 5 オブザーバー 米倉 理恵（気田幼稚園長）、佐々木 徹（春野協働センター）
- 6 学 校 堀部 憲一（校長）、野嶋 孝弘（教頭）、森下 裕子（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項
(1) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて
(2) 自然災害発生及び警報発令・避難情報発令時に伴う学校の対処について
(3) 150周年について
- 9 会議録作成者 森下 裕子（CS ディレクター）

10 会議記録

司会の 野嶋 孝弘 から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、山下太委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて

校長より、ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めることとして、春野の役にたっていると子供たちが実感をもてるような活動をしたいと考え、昨年度は社協の弁当へのメッセージカード添付の活動や、10月にアサギマダラ観察ができるように準備をはじめた。また、今後の児童の減少も踏まえ、現在の田植え体験や筏体験の在り方について、意見を求めたいという発言があった。特に筏体験は活動場所が遠く、材料の運搬が大変であり、今後その人材確保が難しくなる可能性があること、急なバスの手配ができないので日程変更が難しいこと、川の毎日の状況確認をしていただける人材の確保が困難になる可能性があることなどがあげられる。また、全校児童で弁当を持って一日活動ができればと思っている。校長の発言を受けて委員より以下の発言があった。

① 田植え体験の実施方法について

- ・新しい田植えの場所がないか。作物の管理が大変である。世の中はコンバインが主流なので、そういう学習もありかと思う（森下委員）
- ・学校と地域の妥協点のすり合わせが必要である（正久委員）

- ・合鴨を放すのはどうか（正久委員）
 - 合鴨の管理が大変（山下太委員）
- ・昔は学校のグラウンドあたりに田んぼや茶畑があった（山下晃委員）
 - 昔の気田の地名や王子製紙の歴史を知ること面白そうである（校長）
- ・農業は機械化が進んでいるので、ドローンの様々な活用方法を見せてもらえたら農業に興味をもつのではないかと（山下晃委員）
- ・犬居は山ちゃんファームでお米を作っているのと一緒にやってみてはどうか（岩本委員）

② 筏体験の実施方法について

- ・昔、親子で夏休みに川に網を張って魚のつかみ取りをしたのがすごくいい思い出として残っている（岩本委員）
- ・アユ釣りは以前やっていたが、時間的な問題等があったり立ち消えになった（森下委員）
- ・全校で同じ活動をしなくても、各学年で川を使うというテーマで活動を考えたかどうか（山下太委員）
- ・蛍公園のところの川はどうか。浅瀬で魚のつかみ取りができ、筏もできると思う。トイレもあって一日遊べるのではないかと（山下晃委員）
 - 夏に見に行くことにする（校長）
 - 生け簀を作ることから活動するのもいいと思う（山下太委員）

(2) 自然災害発生及び警報発令・避難情報発令時に伴う学校の対処について

校長より土砂崩れ等の影響で通学困難な児童も出たり、復旧までの時間がかかったりする箇所もあった。迂回路を通ることも難しい地域もある。他の場所はこういった様子が教えてもらいたいとの発言があり、委員より以下の意見があった。

- ・50年ほど前、七夕豪雨があった。道はたくさんあるが、どの道も狭く倒木があって自分で道を切り開いて通るような感じである（山下太委員）
- 今後も委員は、危険箇所等新たな情報があれば学校と共有していくこととした。

(3) 150周年について

校長より、11月25日学習発表会で式典を行い、来賓の方をお呼びするので、委員に手伝いをお願いしたいという発言があり、委員全員意義なく了承した。

(4) その他連絡事項

司会より今後の日程について以下のような発言があった。

第3回 令和5年10月19日（木）14時30分から15時30分
（春野の良さ、課題について意見をいただきたい）

第4回 令和6年 2月16日（金）14時30分から15時30分
（自己評価をお願いしたい）